弥栄中図書館だより

発行日　平成 28 年 12 月
学校図書館司書　横山貴子

全校総合で学んだ今…もっと学びを深めるために！

◇「ハンセン病」についての本を読んでみよう

2 年生・国語教科書　掲載

「ハンセン病だった私は幸せ　子どもたちに語る半生、そして沖縄のハンセン病」　金城幸子著（ボーダーインク）

この本の著者・金城幸子さんはハンセン病の両親から生まれ、自らも 8 歳で発症。療養所生活、進学、就職、結婚などでさまざまな苦難を経験してきた。今は語り部として活動する著者はこう語る…「多くの出会いをくれたのも、この病」と。1 学期・国語の時間に取り組んだビブリオバトルで紹介してくれた 2 年生の生徒がいました。

「神谷美恵子　ハンセン病と歩んだ命の道程」

大谷美和子著（くもん出版）

19 歳のときハンセン病患者に出会い、医者になってハンセン病患者の手助けをしたいと願い続け、40 歳過ぎてから念願だった岡山県長島愛生園の医師となった神谷美恵子。患者と心を通わせ、共に考え学んだことを社会に発信し続けた彼女の生き方を知ってほしいと書かれた本。

「なぜ私たちでなくあなたが？あなたは代わってくださったのだ」　（本書：神谷美恵子の詩より　抜粋）

このほか館内には次の本があります。

「知っていますか？ハンセン病と人権」一問一答

ハンセン病と人権を考える会　編（解放出版社）

「知らなかったあなたへ　ハンセン病訴訟までの長い旅」 谷雄二著（ポプラ社）

「ハンセン病を生きて　きみたちに伝えたいこと」 伊波敏男著（岩波ジュニア新書）

12 月 4 日～10 日は人権週間です。 読んで考えてみませんか？

＊裏面にハンセン病に関する新聞記事を載せています。